



東陶器

10月号
令和8年10月1日
堺市立東陶器小学校
TEL 236-0036
FAX 236-0020

「自分大好き 友だち大好き 学校大好き」ーその人の立場、思い、気持ちを考えるこどもー

校長 渡邊 耕太

9月7日に行われた3年の総合的な学習の時間での平和学習では、堺市のピースメッセンジャーから、堺大空襲の話聞きました。今から81年前の特に7月10日に多くの焼夷弾が堺市に投下され、1860名の方がなくなられました。ピースメッセンジャーへ当時のことを語っていただいた方は、「当時11歳で、被害を受けたが自分自身は無事であった。しかし、家は焼かれ、別の地に引っ越しした。終戦も別の地で知った」などと語られたそうです。また、「未来をつくるこどもたちには常に事実に向き合ってほしい。そして、平和な世の中をつくってほしい」との思いを語られたとのことでした。ピースメッセンジャーからは、「戦争で勝つことなどよりも、一人ひとりの幸せ、社会の幸せを追究してほしい。81年前の戦争中は好きな食べ物も食べられず、将来の夢も語れず、平和でもなかったのではないか。平和とはどういうことか考え続けてほしい」とのメッセージを送られました。お話の後、防空ずきんを被らせてもらい、これで焼夷弾から守れるのかなど、当時の社会のことも考えました。(下写真、左と左から二番目の写真)

9月8日に行われた4年の総合的な学習の時間での障がい者理解教育では、障がいのある人たちなどの日常生活への手伝いをする方と、18歳のときにトラックとぶつかるといふ事故から2年間の入院生活を送られたという方を招き、お話を聞きました。事故に合われた方は、「一年半は歩けなかったが、リハビリなどで今は歩けるようになっています。事故に合われたときには、それまでできたことができなくなり、苦しい思いをずいぶんもった。そこからリハビリを行い、まわりの人から助けてもらいながら、一人でも生活ができるようになったことはうれしいこと」だとおっしゃられていました。ただし、今でも通路の右側に手すりがないと階段の昇降は不安であることなども伝えられました。お二人とも、まわりからいろいろと話しされることはうれしいことから、こどもたちには「話すことをあきらめないでほしい」というメッセージも伝えられました。障がいのある人との出会いでは、「その人の障がいを理解すること、人との出会いが障がいのある人に助けとなること、その人のことを理解すること」を意識してほしいことや、「差別のない、壁のない、命かがやく」東陶器小学校のこどもたちであってほしいとの思いをお伝えいただきました。4年生は次の日には、車いすなどの体験を行い、足の不自由な人などの思いや日常生活のバリアについて考えました。この体験活動には4年の保護者の方にもお手伝いいただき、ありがとうございました。

(下写真、右から2枚目、一番右の写真)

現代の社会では、人権上の課題が多く、未来を切り拓き、生きていくこどもたちにとって、人権上の課題をまずは知ること、そして人権とは何かを考えること、どう行動するのかを考え、実行することを学ぶことは大事な教育だと考えます。人権を考えるうえで、「その人の立場、思い、気持ちを考えること(他者理解と共感)」は最も根幹にある大切な姿勢です。人権とは、すべての人が生まれながらに持っている「自分らしく幸せに生きる権利」ですが、私たちは無意識のうちに自分のものさしだけで物事を見てしまいがちです。相手の立場に立って考えることにより、無意識の偏見に気づいたり、多様性を認め、対立を防ぐことにもつながります。

先ほど紹介した授業が終わっても、ピースメッセンジャーの方や障がいのある人に質問などを行っているこどもがいました。授業後、「困っている人がいたら、声をかけてみようと思いました」と伝えにきたこどももいました。今後も全教育活動を通して、それぞれの人の立場や思いを考え、「豊かな心」の育成を図っていきたいと考えています。



心が育つ交流活動

上の写真は1年の掃除時間の教室での様子です。1年生と6年生が机を運んでいます。下の写真はゴミ捨て場まで1年生を6年生が案内している場面です。

掃除の時間(13時15分～13時30分)には1年生の教室などに、6年生が1学期から来ています。掃除の仕方を教えたり、机運びなどを手伝ったりしています。6年生に「掃除の仕方などを1年生に教えてくれてありがとう。1年生もしっかりと掃除できるようになっています」と伝え、「自分も1年生のときに、当時の6年生に教えてもらって、今がありますので」との返事が返ってきました。本校の伝統にしていきたいものです。9月14日の朝会時には、環境美化委員会のこどもたちが、「掃除の仕方」を動画で紹介しました。掃除をていねいに行う学校は、心も育つと考えています。(次ページにも掃除について書いています。)



10月の行事予定

1	木	1年研究授業 S4下校13:15ごろ 1-2は下校14:35ごろ
5	月	6年出前授業(3限)
6	火	外国語学習指導にかかる全市公開授業(6限 6年)
7	水	A5 委員会活動(前期最終 5限)
8	木	不審者対応訓練、理科学習指導にかかる全市公開授業(6限 5年)、PTA役員会19:00～
12	月	スポーツの日(休日) 堺市民オリンピック
14	水	A5下校14:50ごろ
15	木	※6年連合運動会(金岡競技場・野球場)
16	金	教育相談週間① A4下校13:45ごろ
19	月	教育相談週間② A4下校13:45ごろ
20	火	教育相談週間③ A4下校13:45ごろ
21	水	クラブ活動、A5下校14:50ごろ
22	木	S6下校15:30ごろ
23	金	6年連合運動会予備日
27	火	3年校外学習(市役所・大仙公園)、6年薬物乱用防止教室(5, 6限)
28	水	A5下校14:50ごろ 委員会活動(後期第1回 5限)
29	木	4年研究授業 S4下校13:15ごろ 4-1は下校14:35ごろ
30	金	6年にんげん学習交流会(5・6限 本校体育館) 3年出前授業(午前)

※①連合運動会は、順延の場合のみ当日の午前7時15分までにホームページでお知らせします。

教育目標
○よく考え 主体的に活動する 心豊かな子の育成
○自分大好き ○友だち大好き ○学校大好き
子ども一人ひとりのために「学校力」を発揮する教職員
子どもたちの学びを支える笑顔いっぱい元気な教職員
○笑顔で登校し、笑顔で下校する子ども
○感謝の気持ちを言葉で伝えられる子ども

・11月の主な行事

○5日(木)

5年連合音楽会

○7日(土)

土曜参観

○11・12日(水・木)

6年修学旅行(信楽、長島方面)

○13日(金)

土曜参観代休

○19日(木)

S4 研究授業

(2-4は下校14:35)

○25日(水)

初研 S4下校13:15

※予定は変更することがあります

宿泊学習でつけた力、そして次のステージへ

5年生は9月16・17日の2日間にわたって、大阪府立青少年海洋センターで宿泊学習を行いました。保護者の皆様には前日までの準備を始め、当日のお見送りやお出迎えなどにご協力いただき、ありがとうございました。

16日は雨模様でしたが、海での活動はすべて行えました。キャンプファイヤーは屋内でのキャンドルファイヤーとなりました、5年生の元気さ、明るさで大いに盛り上がり、思い出深い1日めとなりました。17日は、晴れて、海での活動を行い、仲間とともに力を合わせて、船漕ぎ体験を楽しみました。

宿泊学習の学年目標は「仲間を思いやり、みんなが楽しいと思える宿泊学習にしよう」でした。この点を含めた成果と課題について教員たちに話を聞きました。

成果として多くの教員があげていたのは、「何事にも一生懸命で、元気な明るさがあること」ということでした。課題があっても、明るさをもって課題を解決しようとする態度はいいですね。「あいさつがよい。また元気に活動するときと、静かにするときのメリハリがつけられるようになってきた」との話もありました。あいさつやメリハリをつけられるということは、まわりの状況がよくみえていて、その状況に応じて判断できるということです。「友だちへの声かけも多く行われていた」と話もありました。今月号の1ページめにも書いたとおり、その人の立場や思いや気持ちを考え、その人に応じた声かけをする態度はすばらしいものです。また、準備から本番までの様々な活動を通して、学級の枠を超えた学年としてのつながりが感じられるようになったとの話もありました。

その反面、しおりには書かれていないことなどについて、その場で考え判断して行動する点は課題だとの話もありました。「しおりなどに書かれておらず、だから先生に言われるからしている」だけでは本当の意味で、目標にもある自分たちで行動したことにはなりません。自分たちで行動できるようにするためにも、今後は「意味を考える」ということが大事になってきます。学校生活のなかでも、「移動教室のときには静かに歩く」「ろうかは歩く」など、先生から言われることがあると思いますが、そのときにも、それはなぜかと考えることを積み重ねてほしいと思います。またそれに応じた行動をしてほしいと思います。また、「みんな」のかげに隠れて、「自分」が前に出てこない様子も見られたとの話もありました。このことについては、11月の連合音楽会への取組の中でも課題として、自分を表現しながらも、みんなで心合わせた合唱を創りあげていく活動を通して、解決に向かってほしいと思います。

5年生としての1年間もう半分が終わりました。あと半年すれば6年生、学校の最上級です。他の学年の目標の存在として、毎日の学習はもとより、大きな学年行事に目標をもって取り組むことにより、個人として、学年集団として、さらに成長してほしいです。



「健やかな体の育成」に向け

8月21日（金）、本校の学校医である内科医、歯科医、耳鼻科医、また、保健センターの方を招聘して、学校保健委員会を開きました。

学校から、保健（1学期に行った健康診断の結果など）や、学校安全（避難訓練や不審者対応訓練など）、給食（食育や食物アレルギーなど）、体育（1学期に行った新体力テストの結果など）について伝えたのち、協議を行いました。

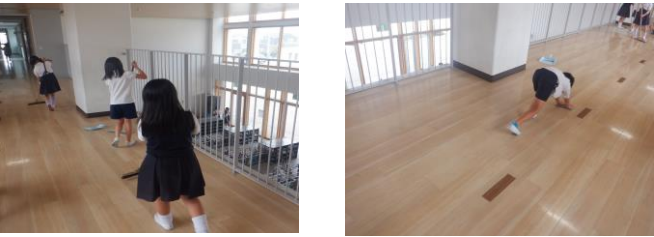
各学校医さんからは、次のような意見をいただきました。

- ・耳鼻科の受診率がこれまでより高くなっている。
- ・プール前の耳垢が気になって、受診しにきている方もいる。
- ・歯科検診の結果からは、むし歯（歯の中の細菌が作り出す酸によって歯が溶かされてしまう病気）の保有率が本校は高い傾向があるので、むし歯がある場合は、早いうちに歯科医に行って治療してほしい。進行してからであると、治療できない歯になることもある。
- ・普段から、うがいを習慣化してほしい。フッ化物でうがいをするとなおよい。
- ・アトピー性皮膚炎のこどもの数が減った。治療をしっかりとしているからだと考える。
- ・脊柱側弯症（せきちゅうそくわんしょう）が増えてきている。脊柱側弯症とは、背骨が左右に曲がっている状態。放置して弯曲が進むと、成人になったときに背中痛みや激しい腰痛に悩まされるリスクもあるので、早めに整形外科医等に受診してほしい。

健やかな体の育成に向け、学校でも給食委員会のこどもたちが給食時間に「日めくりカレンダー」を使用し、食べ物についての話を放送したり、体育委員会のこどもたちは体力テストの結果を受けて、取り組んだらよい運動などについて、自分たちで動画を撮影し、9月14日の月曜朝会時に放送したりしてくれました。

健診結果は1学期にすべてのこどもにお渡ししましたが、特にむし歯などの疾病がある場合はぜひ受診のうえ、治療していただけたらと思います。

掃除をていねいに行う



写真は、掃除時間の様子です。本校のこどもたちは、そうじの時間にていねいに掃除を行い、その姿は素晴らしいと就任以来、感じておりました。

日本の小学校では掃除を行います、海外では行わない国もあるようで、最近では日本の小学校の掃除を行う教育に興味を持って視察に来られる国もあるようです。掃除をていねいに、大切に行うことには、大人の掃除とは異なる「教育的な価値」が数多くあります。日本の学校教育特有の良き文化でもあり、主に以下のような効果があると考えます。

① 自立心と責任感が育つ

- ・分担された場所を責任を持ってきれいにすることで、自分の仕事を最後までやり遂げる責任感が身につく。
- ・みんなで使う教室や廊下、トイレなどを自分たちの手できれいにすることで、「公共の場所や物を大切に使う」というマナーや道徳心が育つ。

② 協調性とコミュニケーション能力が高まる

- ・机を運ぶ人、ほうきを掃く人、雑巾がけをする人など、友だちと声を掛け合い、協力し合わなければ掃除はスムーズに進みません。この過程で協調性が養われる。
- ・一緒に掃除をする友だちの良さに気づいたり、普段から学校をきれいにしてくれている方（安全管理員さんなど）や周りの人への感謝の気持ちをもつ。

③ 心の安定と自己肯定感につながる

- ・汚れていた場所が自分の手できれいになるという結果が目に見えて分かるため、小さな達成感を得やすく、自己肯定感につながる。
- ・先生や友だちから「きれいにしてくれてありがとう」と言われる経験が、承認欲求を満たし、心の安定をもたらす。

小学校での掃除は、単なる「作業」ではなく、豊かな心や人間性を育む教育として、よさをもっていると考えます。6年生が1年生と一緒にすることや、役割を明確にして、はげましほめることで、今後も、東陶器小学校の文化としての掃除活動の推進を図っていきます。